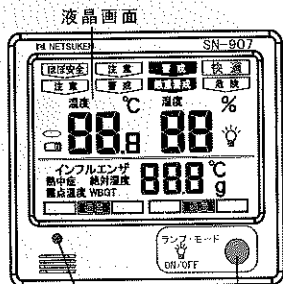


SN-907 多機能型デジタル温湿度計 取扱説明書

●ご使用の前に電池カバーを外し、絶縁紙を抜いてからお使いください。

● 製品各部の説明

表側 全灯表示 (イメージ)



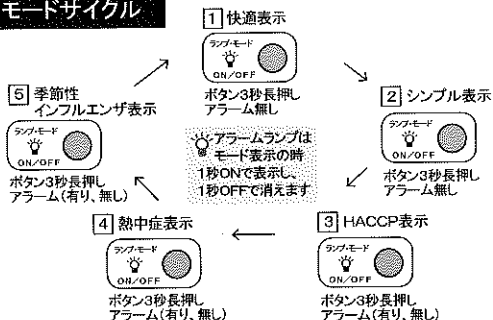
アラームランプ LED(黄/赤) モード切替ボタン (ON/OFF)

温度: +50℃以上「HI」、
-10℃以下「Lo」表示
湿度: 90%以上「HI」、
20%以下「Lo」表示

5種類のモードパターンがあります。

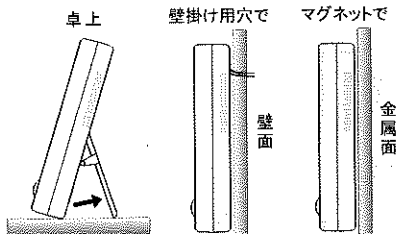
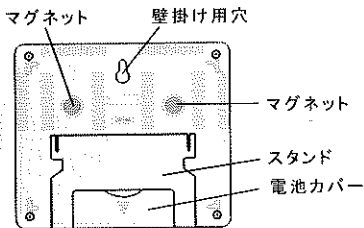
モード	指 標	LEDランプ
1 空調快適モード	快適、適温、適湿、 冷房、暖房、除湿、加湿	—
2 温湿度シンプルモード	—	—
3 食中毒防止対策モード	露点温度	○
4 熱中症対策モード	注意、警戒、嚴重警戒、 危険、熱中症、WBGT	○
5 季節性 インフルエンザ対策モード	ほぼ安全、注意、警戒 インフルエンザ、絶対湿度	○

モードサイクル



● 設置の方法

表側

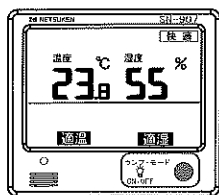


● 安全にご使用いただくために

1. 電池をセットしてから設置後、約30分後に正しい値を示します。
センサーが室内環境になじみ感知するまでの時間です。初期設置時のみ。
※常に10秒間隔で測定しています。
2. 本器は風邪や熱中症の発生を完全に防止できる製品ではありません。
あくまで目安としてご使用ください。
3. 電池交換時期表示マーク が点滅したら電池交換の目安です。
このマークが表示されていないときは、正常に動作しています。
※付属の電池は動作確認用ですので、寿命は1年未満です。



1 空調快適モード

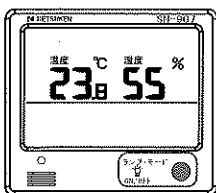


適温 **適湿** が同時に点灯した時に
快適 が表示されます。

○空調目安は快適表示に

冷房 … 28.1°C 以上	除湿 … 66% 以上
適温 … 18.0~28.0°C	適湿 … 45~65%
暖房 … 17.9°C 以下	加湿 … 44% 以下

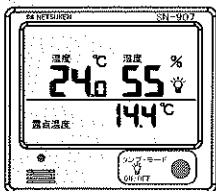
2 温湿度シンプル表示モード



温湿度を必要とするあらゆる場所で使用できます。
美術館、博物館、工場や倉庫、ビニールハウスや
温室・きのこ栽培室などの環境測定に最適です。

政府の提唱している省エネ温度は夏は28°C(クールビズ)、
冬は18~20°C(ウォームビズ)です。

3 [食中毒、結露、カビ]防止対策モード



高温・多湿は細菌の増殖に好適な環境となります。
食中毒の発生原因は殆どが各種細菌によるもので、
発生2日前の温度・湿度が大きく関係しています。

調理場は湿度80%以下、温度は25°C以下に保つこと。

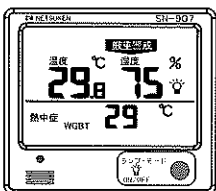
結露はカビを発生させ、カビの孢子がアレルギーとして
室内に充満します。

またダニも60%以上の湿度と20~30°Cの温度条件下
ではカビを餌として増え続けます。アレルギー、喘息、
アトピー性皮膚炎など引き起こす原因となります。

アラーム	・温度25°C、湿度70%以上になるとアラームランプが点滅(黄色)
	・温度25°C、湿度80%以上になるとアラームランプが点滅(赤色)

※露点温度は、相対湿度が30%未満の場合は"———"と表示します。

4 熱中症対策モード



熱中症は梅雨明けから患者が急増。

救急車で運ばれる重症の熱中症患者の60%は室内で発生。
室内にいるからと安心できません。

気温30°C以上、湿度70%以上、
風の弱い時などは、特に危険！！

温度と相対湿度の関係から算出した暑さ指数(WBGT)に基づいて、熱中症の注意レベルが
「嚴重警戒」「危険」に達した場合、LEDアラームランプ及び指標で知らせます。

※ WBGT(単位:°C)は一般的な気温とは異なります。

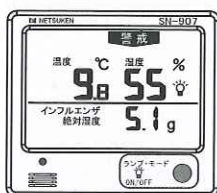
室内用熱中症対策の目安を4段階の文字表示

アラーム	・熱中指数が28℃以上になるとアラームランプが点滅(黄色)
	・熱中指数が31℃以上になるとアラームランプが点滅(赤色)

日常生活における熱中症予防指針
(出典: 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」)

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	日常生活における注意事項
危険 (31℃以上)	全ての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発症の危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28~31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分な休息をとる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発症する危険性がある。

5 季節性インフルエンザ対策モード



厚労省は、冬のインフルエンザ予防には、室内の湿度を加湿器などを使って湿度(相対湿度)を50~60%に保つことを推奨しています。

季節性インフルエンザの流行には絶対湿度が関係しているとした仙台在住の庄司眞医師の論文を参考に、「低温で空気が非常に乾燥した環境」となった場合、指標やLEDで表示します。

季節性インフルエンザ対策の目安を3段階の文字表示

アラーム	・絶対湿度が7g/m ³ 以下になるとアラームランプが点滅(赤色)
------	--

《絶対湿度とウィルスとの関連》

感染防止の目安	絶対湿度	乾燥状態	空気の乾燥状態と季節性インフルエンザの流行
警戒	7g/m ³ 以下	非常に乾燥	空気がとくに乾燥し、季節性インフルエンザの流行になりやすい環境
注意	7g/m ³ ~11g/m ³	乾燥	空気が乾燥してきて季節性インフルエンザが流行してもおかしくない環境
ほぼ安全	11g/m ³ を超える	湿潤	空気が潤っていて、季節性インフルエンザが流行しにくい環境

財団法人宮城県地域医療センターHP
全国インフルエンザ流行予測より引用

絶対湿度: 空気1m³中の水蒸気量を示し、
「kg/m³」で表します。(容積絶対湿度)

本器は季節性インフルエンザを予防できる製品ではありません。本器の特性をよくご理解の上、あくまで一般的な日常生活におけるインフルエンザへの感染予防のための環境作りの目安としてください。なお、精度の誤差などによる二次災害については、弊社では一切その責任は負えませんのでご了承ください。

卓

加湿器



NETSUKEN

保証書

品名 SN-907 多機能型デジタル温湿度計

お買上日

保証期間 お買い上げ日より1年間

本品は徹底した品質管理で製造していますが、万一製造上の不備による故障、または取扱説明書にしたがって正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、当社が責任をもって無償で修理いたします。本書を添えてお買上げの販売店または、当社にお申し出ください。

※保証期間内でも、次の場合には有償修理となります。

1. 本書のご提示がない場合。
2. 本書にお買上げ年月日・お客様名・販売店名の記入が無い場合。
3. ご使用者に原因(落下など)があると考えられる故障・破損。
4. 天災または火災などによる故障・破損。
5. 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・破損。
6. 一般家庭用以外に使用された場合の故障・破損。

※本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is valid only in JAPAN)

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

有料修理の場合は修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にご負担願います。

お名前

ご住所

お電話番号

お買上げ年月日

販売店

●ご使用上の注意

故障・破損の原因となりますので、次のような場所に設置しないでください。

1. 高温になる場所。(例えば、直射日光の当たる場所や、ストーブ・レンジなど火に近い場所等。)
2. 冷暖房器具の送風が直接当たる場所。
3. 浴室等の湿気の多い場所。
4. ほこり・油分の多く発生する場所。
5. 室外。(本製品は室内用です。)

⚠ 電池についての警告

- ショートさせたり、分解、加熱、火に入れないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- 電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 電池を廃棄する場合及び保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

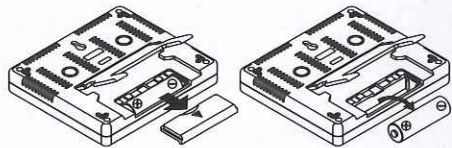
■電池交換

- 1) 本体裏側のスタンドを開き、電池カバーを矢印の方向にスライドさせ取り外します。本体から古い電池を取り出してください。

(図1参照)

- 2) 極性(+・-)を間違えないように新しい電池を入れ、電池カバーを閉じます。

※ 電池セットが不完全だと正常に使用できない場合があります。



[図1]

電池カバーはスライド式です。押しつけたり、無理にはめるとツメが折れる危険があります。

測定温度湿度範囲
湿度: 20~90%RH
温度: -10.0~+50.0℃



NETSUKEN

製品特長